

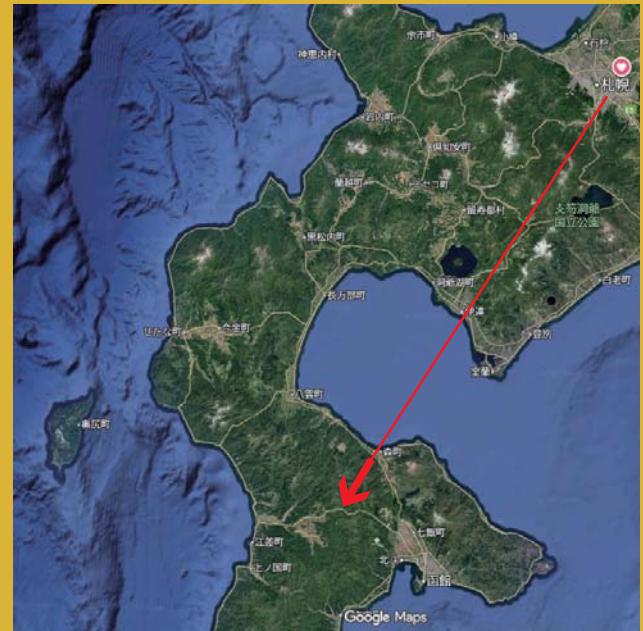
# COSTMER'S VOICE

## 車屋さんと保険屋さんとレッカー屋さんのチームワーク

お正月のある日、お客様から事故のご連絡。

事故現場はお住まいの場所から  
200Km 以上離れた地。

事故で車は自走ができないほどの損傷。



事故が起きた事だけでも気持ちが沈むなか、これから  
やらなければならない事を思うと不安と憂鬱な気持ちが。



そんな状況で事故の一報を頂き、我々は 200Km の  
遠隔地に走れるレッカー屋さんの手配。  
お正月の本当であれば休日を楽しみたいのに二つ返事  
で現場にかけつけてくれる事を了承してくれる仲間。

次に車を引き揚げて来たら、次はお客様の車の修理と  
修理期間乗れる車の手配。車を購入した車屋さんに  
連絡すると事故車両の受け入れ態勢を準備し、代車も  
至急手配するとこれも二つ返事で問題無し。



次に問題は事故場所に目印が無く、どこにいるのか分からぬ。あいにくGPSや自分の位置を調べるツールが無く、道道63号線上にいるという情報だけ。



送って頂いた実際の画像

そこで車の場所から風景の写真を撮影してもらい

保険屋はgoogleMAPで事故場所を特定し、

レッカー屋さんに位置情報を連携し無事に車のレスキューに成功。

お客様は事故から大変長い時間がかかってしまいましたが無事に代わりの車を受け取りご帰宅されました。

事故の解決や車の修理までには少し時間もかかりますがお客様と関係したみんなのチームワークで最大の難関は超えることができました。

お客様からは



「新年早々に事故対応、代車の手配、色々ご対応くださいありがとうございました。無事に帰宅できました。本当に感謝です」

とお言葉を頂きました。

我々はこのような難しい場合も、一緒に戦える仲間と情報を共有し、お客様の問題に向き合っていきます！